

しべちゃ町の未来を創る：馬と共に暮らせる環境づくり 取り組みの紹介 ～ 「馬と共に暮らせる町…標茶」 推進事業 ～

①事業の目的・概要

【解決したい課題】

馬を軸とした関係人口の創出

- ・引退乗用馬を町内牧場で受入れ、受託費用の支援
- ・引退乗用馬受入れ環境整備の支援
- ・魅力ある乗馬ルートの確立
- ・馬との関わりを学ぶ、伝える場の創出
- ・馬とふれあう事業の実施



②事業の指標・成果

【令和7年度の主な成果】

「引退乗用馬受入れ頭数」



■ 令和5年度
■ 令和6年度
■ 令和7年度

「引退乗用馬預入れに関連する方の訪問者数」

・受入れ牧場へ約50人が訪問

→自身の馬の元気な様子を見るため、令和7年度は引退乗用馬の受入れ牧場へ約20組50人の方が訪問されました。中には町内の宿泊施設に宿泊されたり、乗馬施設において乗馬を楽しまれたりし、関係・交流人口の創出に寄与しています

「馬との関わりを学ぶ・伝える場の創出」

・小学6年生、中学1年生を対象に「ふるさと教育」を実施

→町の学芸員や地域の方から町の馬の歴史の講話や、馬と直接ふれあい、ブラッシングやグラウンドワークを通じてのコミュニケーション、乗馬体験などを行い、情操教育を実施しました。
→町内8校 計112名が参加
→町内4事業者が協力

③事業総評・課題

【令和7年度の振り返りと今後の展望】

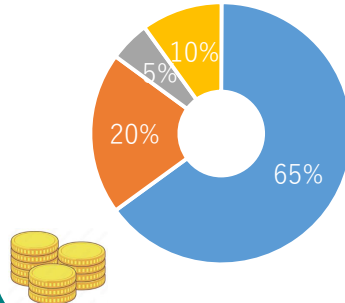


- ・「馬と共に暮らせる町…標茶」の全国的認知度の向上
- ・事業を通じた訪問者獲得・拡充、交流人口の増加を図る
- ・馬産の歴史の啓発を図るため、町内小中学校を対象とした「ふるさと教育」の実施
- ・本事業を推進するため、ふるさと納税及びガバメントクラウドファンディング（GCF）による寄付のPR

今年度の展望：かやぬま宿泊観光施設「ぼん・ぼんゆ」に併設する「蝶の森ホーストレッキングコース」を開設します

④事業費の内訳

【令和7年度】



■ 委託料(コーディネーター・町有馬管理等)

■ 引退乗用馬飼養支援補助(GCF原資)

■ 引退乗用馬飼養環境整備支援補助(GCF原資)

■ 需用費・広告費・啓発品制作・その他

事業費計：22,901千円

うち9,021千円をふるさと納税基金より充当